

今後の主な予定

北区障害者作品展に出展します

北区では、毎年12月の第一週の土・日に『北区障害者作品展』を開催しています。年に一回北区内の障害者団体が一堂に会し、作品展はもちろん、バザー・模擬店・講演会等を行います。

今年は、絵画工房たゆたうの作品展を行います。開催日は12月3日(土)・4日(日)です。ぜひお越しください。



シンポジウムのご案内



2017年3月5日(日)に重度身体障害者グループホームに関するシンポジウムを開催します。夏のシンポジウム「グループホームで普通の暮らしを！」に引き続き、重度障害のある方の地域生活について議論を深めていきたいと考えています。

詳細が決まり次第、皆様にご案内いたします。

「絵画工房たゆたう作品展 vol.2」を開催します

2017年5月16日(火)～31(水)、JR王子駅ガード下の王子カルチャーロードギャラリーにて、「絵画工房たゆたう作品展vol.2」を開催します。本年から始まった絵画工房たゆたうの作品展ですが、たゆたうに通われている方の作品発表の場として来年度の実施も決まりました。日頃の活動の成果を、ぜひご覧ください。



入会のご案内とご寄付のお願い

ピアネット北では、一緒に活動をしてくださる正会員、活動の趣旨に賛同して資金面の援助をしてくださる賛助会員の方を募集しています。入会ご希望の方は、右記口座にお振込みいただくかピアネット北事務局までお問い合わせ下さい。

正会員 年会費 10,000円
賛助会員 3口より (1口1,000円)

■ 振り込み先

郵便口座：
00100-5-296049
口座名称：
特定非営利活動法人 ピアネット北

■ お問い合わせ

TEL&FAX：03-3905-7226



ピアネット北通信

2016(平成28)年10月発行 第24号

○ 重度身体障害者グループホームやじろべえの生活を 紹介する DVD が完成・好評発売中です！

ピアネット北では、2006年より『重度身体障害者グループホームやじろべえ』を運営しています。重度身体障害者を対象としたグループホーム制度は全国的にも珍しく、東京都が独自に実施してきた先駆的事業で、都内でわずか14箇所しかありません。『やじろべえ』は、“どんな障害があっても、住み慣れた地域で自分らしく生活ができるように”という思いからスタートしました。入居者の方々に、

一人ひとりのニーズに応じた細やかなサービスを提供し、「普通の暮らし」を全力でサポートすることで、それぞれの自分らしい生活を創る場として機能しています。

この度『やじろべえ』での日々の生活の様子をお伝えするDVDを製作しました。身体障害者支援に限らず、障害者の地域生活や地域福祉活動に関心のある方も、ぜひご覧ください！

内容

- ◆法人事業紹介
- ◆重度身体障害者グループホームやじろべえ
 - 建物の紹介
 - やじろべえの1日
 - 日中活動の紹介
 - 家族の思い
- *本編25分

●定価

【個人購入】2,000円
【団体購入】5,000円

【購入お申し込み・お問い合わせ】

NPO 法人ピアネット北
TEL&FAX：03-3900-6848
Mail：peernet@peernet.or.jp



このDVDは、社会福祉法人丸紅基金の助成金によって作成されました。



事務局

〒114-0003 北区豊島5-5-612
TEL&FAX：03-3913-9308

北区障害者地域自立生活支援室

〒114-0032 北区中十条1-2-18
TEL&FAX：03-3905-7226

療育相談事業 あこの会

〒114-0032 北区中十条1-4-7インクリースビル6階
TEL&FAX：03-3900-6848

重度身体障害者グループホーム やじろべえ

〒115-0052 北区赤羽北1-7-23
TEL&FAX：03-6657-9077

☞ URL：http://www.peernet.or.jp/

✉ E-mail：peernet@peernet.or.jp

○ シンポジウムを開催しました

丸紅基金から助成金をいただいて製作した「やじろべえ」の紹介DVD完成に伴い、多くの方と重度身体障害者の地域生活について考える機会をもちたいとの思いから、8月6日(土)TKP新宿カンファレンスセンターにて、シンポジウム「グループホームで普通の暮らしを！」を実施しました。今回、申し込み開始より多くの方にお問い合わせをいただき、当日は暑い中、約100名超の方にご参加いただいたの開催となりました。

基調報告では、「身体障害者グループホームの現状」と題して、法人理事の松田雄二氏より、重度身体障害者の住まいの場の歴史的な変遷や現在の状況、また、東京都重度身体障害者グループホーム事業の概要などを説明いただきました。続いて、実践報告「やじろべえの10年ーやれたこと・やれなかったことー」では、入居者の家族である田名網れい子氏、やじろべえを設計してくださった飯野高明氏、やじろべえの職員である佐藤征彦氏が、それぞれの立場から、これまでの歩みや、やじろべえへの思いを語りました。設計にあたっての工夫、入居にあたっての家族の不安、入居者の介助にあたって気をつけていることなど、生の声を聞くことができました。

後半のシンポジウム「安心した生活、安定した運営」では、重度身体障害者グループホームの運営に携わっている、グループホームRENGA施設長の土橋誠人氏、新宿区障害者福祉協会専務理事の今井康之氏より、グループホームでの人員配置や運営



方法、現場が抱える課題、入居者の高齢化や医療的ケアへの対応などについて、具体的にお話しいただきました。国制度の障害者総合支援法による共同生活援助(グループホーム)による運営と東京都重度身体障害者グループホーム事業を利用した場合の違いなど、今後グループホーム運営を考えている方にも参考となるような実践的な内容となりました。

来場者からは、「厳しい内容も多かったが、勉強になった」「グループホームの現状や課題を知ることが出来、参加してよかった」等の感想をいただきました。身体障害者グループホームについての勉強会や実践報告の場は、まだあまり多くないのが現状ではないでしょうか。今回、たくさんの方に集まっていただき、このテーマに対する関心の高さを感じました。他の地域の方や幅広い関係機関の方と情報を共有することができ、身体障害者の地域生活への見識を深めるきっかけになったのではないかと思います。シンポジウムで得られた成果をもとに、さらなる取り組みへと発展させていきたいと思っておりますので、今後ともご協力のほど、よろしくお願いいたします。参加してくださった皆様、本当にありがとうございました。



土橋誠人氏



今井康之氏

○ ハイキングに行ってきました

あこの会では春と秋、それぞれ2コースに分けてハイキングを実施しています。「こだまコース」はおもに幼児から学童低学年まで、「のぞみコース」はおもに学童高学年以上を対象としたコースです。10月8日(土)に、こだまコースのハイキングを実施しました。今回は、西武池袋線の西吾野駅を出発して、関東三大不動のひとつといわれる高山不動尊(標高608m)を目指して歩く約7kmのコースです。

出発前にパラパラと雨が降りだしましたが、雨具を着た子どもたちはやる気満々でした。みんなの前で「立ち止まらない」「みんなに声をかける」など、自分の目標を発表し、歩き始めました。山道に入る頃にはいったん小雨も止みましたが、だからといって油断は禁物です。「足元が滑りやすいので、気を付けて歩きましょう！」と、先頭を歩く6年生が声をかけると、大きな声でみんなの返事が返ってきます。こうした元気が影響したのか、降ったり止んだりを繰り返していた雨も上がり、予定していた高山不動尊でお昼ご飯を食べることができました。

帰り道のスタートは、120段の急な下りの石段で

す。すべらないように、一段ずつどこに足を置くか考えながら、歩を進めなくてははいけません。階段を下り、樹齢800年といわれる大イチョウの広場に着いたとき、遠くの山並みがきれいに見渡せるほど晴れてきました。

汗ばむくらいの天気になったなか、全員で力を合わせて、無事にゴールの西吾野駅にたどり着きました。子どもたちが完歩証明書をもらい、誇らしげな表情になったことが印象に残っています。

この日は、初参加の家族もふくめて7家族が参加し、総勢15名でのハイキングでした。このハイキングが、子どもたちの力を見直すきっかけになればと思っています。



○ 「絵画工房たゆたう作品展 vol.1」を開催しました

今回、「絵画工房たゆたう」に通われている45名の方の作品を、前期・後期にわけて展示しました。作品をみてくださった方々から、「色遣いが素晴らしい」「大胆なタッチですね」「想像していたよりクオリティが高かった」等々の感想をいただきました。

このような発表の場は、通われている方々の作品制作の励みにもなるので、毎年開催していきたいと考えています。

*JR王子駅のガード下を利用した『王子カルチャーロードギャラリー』は、北区内の福祉施設、学校、趣味のサークルの方たちが、絵画・書道・俳句などの作品を発表する場として活用しています。



*今回の『絵画工房たゆたう作品展vol.1』の開催にあたり、順天中学校より展覧会準備費用として寄付をいただきました。寄付は、額縁の購入費用の一部に充てさせていただいております。